

第一 普通会計

I 決算の概要

令和4年度の県内40市町村の普通会計決算における特徴は次のとおりである。

1 決算規模

- 決算規模は、歳入7,815億2,585万円、歳出7,533億8,692万円
- 対前年度伸び率は、歳入0.3%の減、歳出0.0%の増

2 収 支

- 実質収支は237億2,882万円の黒字（実質収支が赤字の団体は0団体）
- 単年度収支は13億9,715万円の赤字
- 実質単年度収支は75億2,669万円の赤字

歳入歳出差引額（形式収支）は、281億3,893万円の黒字であり、これから翌年度に繰り越すべき財源44億1,011万円を控除した実質収支は、237億2,882万円の黒字となった。

今年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は、前年度の72億9,405万円の黒字から13億9,715万円の赤字となった。

単年度収支に財政調整基金積立額と地方債繰上償還額を加えた額から財政調整基金取崩額を差し引いた実質単年度収支は、前年度の106億9,961万円の黒字から75億2,669万円の赤字となった。

3 歳 入

- 歳入の対前年度伸び率は、
 - ①地方税は、固定資産税の増などにより、1.5%の増（前年度0.9%の増）
 - ②地方特例交付金等は、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金の減などにより61.5%の減（前年度155.2%の増）
 - ③地方交付税は、普通交付税の減などにより1.3%の減（前年度8.6%の増）
 - ④地方消費税交付金等は、法人事業税交付金の増などにより1.6%の増（前年度11.8%の増）
 - ⑤国庫支出金は、子育て世帯等臨時特別給付金補助金の減などにより12.4%の減（前年度33.7%の減）
 - ⑥地方債（臨財債除き）は、三沢市ごみ焼却施設整備事業、つがる市総合体育館建設事業、平川市新本庁舎建設事業の増などにより、12.2%の増（前年度29.3%の減）となったことなどから、歳入全体では0.3%の減（前年度10.4%減）

歳入の主な内訳は、地方交付税2,177億7,084万円（構成比27.9%）、地方税1,532億7,792万円（構成比19.6%）、国庫支出金1,609億5,673万円（構成比20.6%）、地方債547億2,206万円（構成比7.0%）、県支出金624億1,765万円（構成比8.0%）となっている。

4 目的別歳出

○目的別歳出の対前年度伸び率は、

- ①総務費は、平川市新本庁舎建設事業の増などにより、2.4%の増（前年度56.8%の減）
- ②民生費は、子育て世帯等臨時特別給付金及び住民税非課税世帯等臨時特別給付金の減などにより、4.7%の減（前年度12.7%の増）
- ③農林水産業費は、十和田市産地基幹施設等支援事業の増などにより、13.7%の増（前年度13.3%減）
- ④教育費は、青森市アリーナプロジェクト推進事業の増、十和田市統合小中学校建設事業の増、つがる市総合体育館建設事業の増などにより、5.2%の増（前年度10.2%減）

目的別歳出の主な内訳は、民生費が2,559億3,893万円（構成比34.0%）、総務費が960億762万円（構成比12.7%）、教育費が801億5,289万円（構成比10.6%）、土木費が733億4,336万円（構成比9.7%）、公債費が721億1,389万円（構成比9.6%）となっている。

5 性質別歳出

○義務的経費の対前年度伸び率は、

- ①人件費は、勤勉手当、消防団員報酬の増などにより、1.6%の増（前年度1.1%減）
 - ②扶助費は、子育て世帯等臨時特別給付金、住民税非課税世帯等特別給付金の減などにより、8.8%の減（前年度18.8%増）
 - ③公債費は、地方債元利償還金の増などにより、0.4%の増（前年度0.5%減）
- となり、義務的経費全体では4.5%の減（前年度9.2%増）

○投資的経費の対前年度伸び率は、普通建設事業費において、三沢市ごみ焼却施設整備事業の増、つがる市総合体育館建設事業の増などにより6.0%の増（前年度18.2%減）となり、全体として9.1%の増（前年度18.1%減）

○その他の経費の対前年度伸び率は、

- ①物件費は、公共施設等の光熱費の増などにより、4.6%の増（前年度6.0%増）
- ②補助費等は、新型コロナ対策関連及び物価高騰対策関連の補助金の増などにより、10.1%の増（前年度55.9%減）
- ③積立金は、財政調整基金及び減債基金への積立の減などにより、21.2%の減（前年度73.8%増）

○歳出全体では0.0%の増（前年度11.6%減）となった。

義務的経費の歳出総額に占める割合は、前年度の45.6%から2.1ポイント減少して43.5%となっている。

投資的経費の歳出総額に占める割合は、前年度の11.1%から1.0ポイント増加して12.1%となっている。